



山本よしかず県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

農林総合研究センターで育成

落花生期待の新品種 2年後秋にデビュー

煎り莢用

甘み強く見た目がきれい

山本義一県議(八街市、3期)は9月定例会議会で一般質問に立ち、農林業問題をはじめ商店街におけるインバウンド(外国人観光客の誘客)対応、視覚障害者への支援などについて、森田知事ら県執行部に現在の状況や今後の対応などを尋ねました。県が開発中の落花生新品種のデビュー時期を聞いた山本県議は、「手に取って食べたくなるような名前を付けてください」と要望しました。山本県議の質疑と県執行部の答弁を特集します。



9月定例会議会で登壇し、一般質問を行う山本義一県議

山本議員 千葉といえば落花生、落花生といえば八街と全国的に有名。2015年の千葉県の落花生作付け面積は5240畝で全国の78%を占め、全国1位になっている。

千葉県農林総合研究センターで落花生の品種改良に取り組んでいるが、昨年度の議会での私の質問に対して有望系統を1系統に絞り込み、導入を進めていくとの答弁があった。二十数年ぶりの新品種として大いに期待している。

そこだろうかすが、煎り莢用の落花生新品種はどのような特徴があり、デビュー

9月定例会議会一般質問

1はいつ頃の予定か。

農林水産部長 農林総合研究センターでは、本県特産の落花生の生産振興を図るため、食味が良く、収量が多い新品種の育成に取り組んできました。

今回育成した、煎り莢用の落花生新品種は「ショ糖含有率が高く、甘みが強い」「莢が白く、見た目がきれいで」「病気などの発生が少なく、収量が多い」な

どの特徴があり、生産者や加工業者からの評価も高いことから、主力品種として有望であると考えています。

今後は、栽培技術の普及や種子の供給体制の整備に努めるとともに、その特徴を生かしたネーミングや販売方法の検討などを進め、2年後の平成30年秋を目途に販売を開始したいと考えております。

が予想されることから、生産性の向上やコスト削減を重視した視点で試験研究に取り組んでいくことが重要です。

畜産総合研究センターでは、牛の能力を最大限に引き出し年間乳量を増加させる飼育方法や、エサとなる飼料用稲の最適な収穫時期の解明、子豚を多く産む系統豚ボウソウL4の育成・選抜などの試験研究に取り組み、これら技術の県内普及を進めてきました。

今後も、牛を長期間飼育し生涯での乳量を最大化させる新たな飼育方法や、ロボットなどを活用した省力化技術など、畜産農家が持続的に発展できるように試験研究に取り組んでまいります。

おおまさりに代わる

山本議員 落花生「おおまさり」にかわる品種の開発状況はどうか。

農林水産部長 県で育成した茹で莢用の落花生「おおまさり」は、粒が極めて大きく、軟らかで甘みがあり、消費者の人気は高いものの、生産者からはより病気に強く栽培しやすい品種への改良を要望されてきました。

山本議員 落花生「おおまさり」は、粒が極めて大きく、軟らかで甘みがあり、消費者の人気は高いものの、生産者からはより病気に強く栽培しやすい品種への改良を要望されてきました。

山本議員 落花生「おおまさり」は、粒が極めて大きく、軟らかで甘みがあり、消費者の人気は高いものの、生産者からはより病気に強く栽培しやすい品種への改良を要望されてきました。

茹で莢用も開発中

山本議員 落花生「おおまさり」にかわる品種の開発状況はどうか。

農林水産部長 県で育成した茹で莢用の落花生「おおまさり」は、粒が極めて大きく、軟らかで甘みがあり、消費者の人気は高いものの、生産者からはより病気に強く栽培しやすい品種への改良を要望されてきました。

山本議員 落花生「おおまさり」は、粒が極めて大きく、軟らかで甘みがあり、消費者の人気は高いものの、生産者からはより病気に強く栽培しやすい品種への改良を要望されてきました。

畜産コスト削減研究

山本議員 千葉県畜産総合研究センターでは、今後どのような試験研究に取り組んでいくのか。

農林水産部長 畜産の経営環境は飼料価格の高止まりや担い手不足に加え、今後TPPによる関税引き下げの影響など、厳しい状況

千葉県や八街市のご意見、ご要望をお聞かせください
〒289-1116 八街市中央20-11
TEL.043(440)7070
山本よしかず県議事務所 FAX.043(440)7030

県内の小規模私有林 県、集約化を支援

山本議員 県は、森林整備や木材産業の成長にどのように取り組んでいるのか。

農林水産部長 県としては、森林の有する多面的機能を持続的に発揮させるために、森林整備を積極的に

進めることが重要と考えており、このため、県内の大宗を占める小規模な私有林の集約化と、間伐を主体とする森林経営計画の作成を積極的に支援しております。また、木材産業の成長を

促すために、スギを用いたLVLと呼ばれる木質構造材及び耐火部材、マテバシイを活用した内装材などの開発の支援や、公共建築物への木材の利用促進などに取り組んでおります。

さらに、県産木材の供給拡大を図るために、高性能林業機械の導入等に対して助成しております。引き続き

き、森林経営計画による森林整備を推進。新規用途開発材の普及などで木材利用の拡大を促進し、林業及び木材産業の安定的な成長に取り組みたいとあります。

山本議員 千葉

な森林でもおもてなししたいので、是非よろしくお願います。

要望 **ビニールハウス 修繕・撤去費用 国に負担求める** 台風9号で被害

山本議員 台風9号の農業被害に対して

し、国においても、ビニールハウスの修繕や撤去費用を負担していただけるよう県から強く要望していただきたい。

農業共済制度の共済事業は、水稲、陸稲、麦などで、露地野菜類の共済保険が無いため、国に対して、露地野菜類が対象品目となるよう、県からも強く要望してほしい。

の先の商店街まで訪日外国人観光客を呼び込むためには、日本らしい、自然や歴史、伝統文化、食暮らしなど地域にしかないものや地域らしさを考えなければならぬ。

外国語の案内看板やパンフレットの作成、交通の利便性の向上や商店街の活性化、歩いて楽しめるまちづくりなど、また、大型店と連携した取り組みも重要だ。

国道126号沖入口交差点 渋滞解消へ右折レーン要望

山本議員 国道126号は銚子市から東金市を経由して八街市の南部を通り、千葉市に至る一般国道。国道126号と県道岩富

発生しています。この交差点は、国や県などからなる、首都圏渋滞ボトルネック対策協議会が特

定した主要渋滞箇所位置付けられており、県としても右折レーンの設置などにより、交通円滑化を図るこ

とが必要と考えております。八街市から右折レーンの

要望 山本議員 国の直轄事業ですが、事業化となれば県の負担金もある。国と連携して取り組みをお願います。八街市には私の方から北村市長に、市の努力もお願いしたい。ただ、よくお願いするので、三者が連携して事業化に向けて取り組みを切望する。

助成しています。さらに、商業を通じて地域の活性化に取り組みたい。ダイを養成する「ふさの国商い未来塾」において、外

トモールまでは来るが、その

地域の商店街活性化へ 訪日外国人を誘客



補正予算案などを審議した9月定例県議会本会議

街に呼び込むことで、商店街や地域の活性化につなげていきたいと考えています。

このため、

観光客を迎え入れるための体制づくりに取り組んでいます。

おもてなしの心で迎える人材を育成

山本議員 外国人観光客に対応するための商店街における人材育成が重要と考えるが、県はどのような支援に取り組んでいるのか。

知事 県では、商店街で働く人たちが、外国人観光客に対するおもてなしの考え方や、接客に必要な知識・技能を学ぶことができるよう、「訪日観光客商店街おもてなし事業」により、商店街が実施する講習会の費用を

品を表彰する「千葉ものづくり認定製品」に認定された。森田知事もこれは本当に素晴らしいと絶賛しており、千葉県としてもしっかりと応援してまいります。

同社が開発した触感時計は、振動で時間を知らせるので、周りへの配慮や経験を要することもなく知りたい時に時間の確認ができ、既に使用さ

れている方からは高評価を得ている。

そこで、視覚障害のある方に日常生活用具の情報提供をどのように行っているのかをうかがう。

健康福祉部長 障害のある方が使用する日常生活用具については、障害者総合支援法に基づく地域生活支援事業において、国の基準に基づいて、市町村ごとに支給対象となる用具を指定し、購入費を支給しています。

県では、新しい日常生活用具や国の基準改正の情報などを、随時市町村に提供し、各市町村が障害のある方からの相談に対応しています。

視覚障害者用の腕時計 八街市の企業が開発

山本議員 視覚障害者用の腕時計として、振動の数で時刻を表す触感時計を開発したアイスマップ社が八街市にある。県内の優れた製



腕に付けた視覚障害者用の腕時計を示す山本義一県議(右)